

● 県民生活を脅かす犯罪の徹底検挙と犯罪組織の壊滅に向けた取組の推進

施策目標（PLAN）

重要犯罪及び重要窃盗犯の徹底検挙

実施項目（DO）

重要犯罪及び重要窃盗犯の徹底検挙に向けた各種捜査活動の推進

実績（成果）（CHECK）

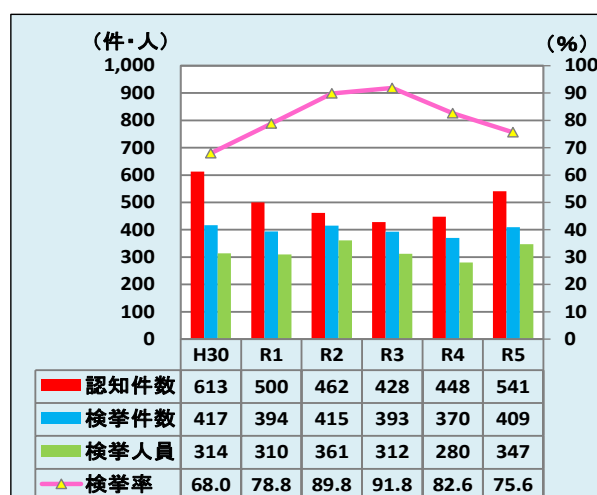
1 主な捜査活動等実施結果

- （１）各種会議や巡回指導等において、迅速な初動捜査、鑑識活動の徹底及び防犯カメラ捜査を指示、指導
- （２）DNA型鑑定やポリグラフ検査等を積極的に活用
- （３）見当たり捜査の実施等、指名手配被疑者の追跡を強化
- （４）組織的な強盗や窃盗等を念頭においた情報共有、合共同捜査を推進

2 重要犯罪の認知・検挙状況

（１）検挙件数等

重要犯罪（殺人、強盗、放火、不同意性交等、不同意わいせつ、略取誘拐・人身売買）の認知件数が、令和４年に比べ増加したことに伴い、検挙件数及び検挙人員も令和４年に比べ増加したものの、検挙率は低下



- 認知件数 541件 [全国7位]
(前年比+93件、+20.8%)
- 検挙件数 409件 [全国8位]
(同+39件、+10.5%)
- 検挙人員 347人 [全国9位]
(同+67人、+23.9%)
- 検挙率 75.6% [全国41位]
(同-7.0ポイント)

【重要犯罪の認知・検挙状況】

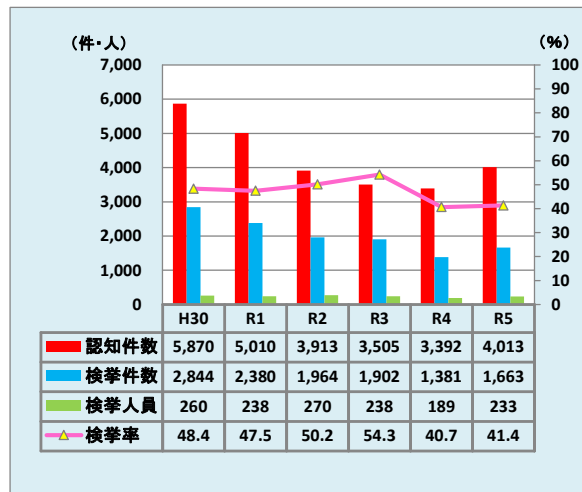
（２）主な検挙事件

重要犯罪の主な検挙事件として、千葉中央警察署管内で発生したバングラデシュ人殺人事件、習志野警察署管内で発生した匿名・流動型犯罪グループによる建造物侵入・強盗致傷事件、木更津警察署管内で発生した住居侵入、強盗致傷事件などを解決

3 重要窃盗犯の認知・検挙状況

(1) 検挙件数等

重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）の認知件数は、令和4年に比べ増加したが、検挙件数、検挙人員及び検挙率のいずれも令和4年に比べ増加



- 認知件数 4,013件 [全国2位]
(前年比+621件、+18.3%)
- 検挙件数 1,663件 [全国4位]
(同+282件、+20.4%)
- 検挙人員 233人 [全国9位]
(同+44人、+23.3%)
- 検挙率 41.4% [全国42位]
(同+0.7ポイント)

【重要窃盗犯の認知・検挙状況】

(2) 主な検挙事件

重要窃盗犯の主な検挙事件として、外国人犯罪グループによる一般民家、別荘等を対象とした侵入窃盗事件、自動車盗犯罪グループによる広域自動車盗事件などを解決

(3) その他

連続発生した電動アシスト自転車のバッテリーを対象とする窃盗事件を解決

今後の課題及び方針 (ACTION)

1 課題

- (1) 認知件数の増加に対し、より効果的・効率的な捜査が必要
- (2) 増加する罪種や手口に対して、対策の強化が必要

2 方針

- (1) 発生状況に応じた捜査の強化
- (2) 客観証拠に基づく捜査を推進するための指導、装備資機材の充実
- (3) 迅速、的確な捜査に向けた捜査幹部及び捜査員の能力向上
- (4) 組織的な捜査を実施するための情報共有と合共同捜査の推進